

発表者(32)	演題	学会名	00発表日
9. Kanai Y, Yokozeki H, Wu MH, Sumi K, Satoh T (Tokyo Medical&Dental Univ), Katayama I (Nagasaki Univ), Karasuyama H (Immunology & Allergology, Tokyo Medical&Dental Univ), Kaneda Y (Gene Therapy Science, Osaka Univ), Nishioka K (Tokyo Medical&Dental Uni)	In vivo transfection of "Decoy" against STAT6 binding site ameliorates chronic skin inflammation induced in IgE transgenic mice.	日本研究皮膚科学会第29回年次学術大会・総会(2004/04/14,	2004.01.14
片山一朗	抗アレルギー薬の新しい使い方	徳島臨床皮膚科医学会	2004.01.22
片山一朗	指定演題セッション1.小児アトピー性皮膚炎の疫学及び病態生理 小児アトピー性皮膚炎の病態	アトピー性皮膚炎治療研究会第9回シンポジウム	2004.01.24
片山一朗	「アレルギー薬の新しい使い方」	学術講演会	2004.02.05
片山一朗、室田浩之、Bae SangJae、堀内保宏	Lipid raftを標的とした新しいアレルギー性疾患治療戦略の検討	平成15年度厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業研究報告会	2004.02.16
乾 重樹	最新の男性型脱毛研究の動向と治療薬開発	情報機構主催セミナー	2004.02.16
片山一朗	「皮膚症状からみたシェーグレン症候群の多様性と治療」	愛知膠原病研究会	2004.02.19
片山一朗	自己免疫疾患:臨床の実際 診断と治療 4.皮膚症状を示す膠原病	第3回アレルギー・臨床免疫医を目指す人達の為の研修会	2004.03.06
片山一朗	膠原病:病態解析への皮膚科のアプローチと治療の展望」	手塚正教授退官記念講演会	2004.03.27
Shigeki Inui, Toshifumi Nakao, Satoshi Itami	Cell-specific regulation of TGF- $\beta$ 1 promoter in dermal papilla cells from androgenetic alopecia	日本研究皮膚科学会	2004.04.14-16
Azukizawa H, Kosaka H, Sano S, and Itami S	加齢とともに皮膚特異的自己免疫疾患を自然発症するモデルマウス	日本研究皮膚科学会	2004.04.14-16
吉田佐保、松本邦夫、富岡大策、別所一彦、中村敏一、吉川邦彦、板見智	リコンビナントHGFは糖尿病マウスモデルにおいて皮膚創傷治癒を促進する	日本研究皮膚科学会	2004.04.14-16
片山一朗	EBMシリーズ5:ステロイドにタキフィラキシーはあるか(教育講演)	第103回日本皮膚科学会総会	2004.04.16
西田陽子、乾 重樹、板見 智	zosteriformに始まり汎発型に移行した環状肉芽腫の1例	第103回日本皮膚科学会総会	2004.04.16
片山一朗	アトピー性皮膚炎の難治性顔面紅斑の治療	第103回日本皮膚科学会総会ランチョンセミナーAD Forum 2004 Flash Report 今、問い直すアトピー性皮膚炎の治療—小児アトピー性皮膚炎を考える—	2004.04.17
大畑千佳、小澤健太郎、板見 智、井上匠美、前田 元	好中球性肺病変を伴った壊疽性膿皮症	第103回日本皮膚科学会総会	2004.04.17
乾 重樹、板見 智	ロキシシロマイシンとナジフロキサシンによる相乗的抗アンドロゲン活性の解析	第2回 皮膚マクロライド研究会	2004.04.24
Azukizawa H, Kosaka H, Sano S, Itami S	Age-dependent breakdown of peripheral tolerance to the epidermal autoantigen.	SID	2004.04.28-5.1
H. Yamanouchi, K. Izumikawa, K. Izumikawa and I. Katayama	A case of erythroderma due to nonionic contrast media, iopamidol with reactivation of cytomegalovirus	Drug Hypersensitivity Meting	2004.05.05-08
M. Takenaka, F. Sueyoshi, K. Nishimura, Y. Hamasaki and I. Katayama	Drug hypersensitivity in Sjogren's syndrome	Drug Hypersensitivity Meting	2004.05.05-08
片山一朗	アトピー性皮膚炎の外用療法—亜鉛華軟膏からデコイ核酸医薬まで—	第46回 愛知県皮膚科医会総会	2004.05.08
片山一朗	搔破による炎症の増強	シンポジウム3 アトピー性皮膚炎はアレルギー疾患か?	2004.05.12
大畑千佳、樽谷勝仁、板見 智	右上腕の黒褐色斑	第20回日本皮膚悪性腫瘍学会	2004.05.15
片山一朗	皮膚構成細胞のストレス応答性から考えるアトピー性皮膚炎の治療	神戸大学皮膚科学教室学術講演会	2004.05.22
片山一朗	皮膚構成細胞のストレス応答性から考えるアトピー性皮膚炎の治療	お茶の水会	2004.05.27
片山一朗	アトピー性皮膚炎の病態はどこまで明らかになったか	第26回 日本小児皮膚科学会学術大会	2004.05.30
片山一朗	アトピー性皮膚炎の外用療法—亜鉛華軟膏からデコイ核酸医薬まで—	第15回 大阪市大皮膚科講演会 ODS(大阪Dermatology Seminar)	2004.06.05.
片山一朗	抗アレルギー剤の新しい作用から見たアトピー性皮膚炎の新しい治療戦略	学術講演会	2004.06.10
片山一朗	薬疹の多様性と診察へのアプローチ	第13回 和歌山皮膚科医会学術講演会	2004.06.12
片山一朗	皮膚ウイルス感染症の診断と治療	第19回 北海道抗ウイルス療法研究会	2004.06.15
Shigeki Inui	TGF- $\beta$ 1 promoter regions possibly involved in pathogenesis of androgenetic alopecia (Luncheon Seminar)	4th Intercontinental Meeting of Hair Research Societies	2004.06.17-19
中川 幸延、室田浩之、小豆澤宏明、大畑 千佳、板見 智、片山一朗	特異な経過を示す尋常性白斑を合併したシェーグレン症候群の1例	第384回日本皮膚科学会大阪地方会	2004.07
片山一朗	病診連携から見た抗原料の診断と治療	OA会	2004.07.10

片山一朗	病因論から考えるアトピー性皮膚炎の治療と展	第20回 日臨皮近畿支部学術大	2004.07.11
乾 重樹、今中 靖、板見 智、片山一朗	ニッケルとコバルトのケラチノサイトにおける炎症性および抗炎症性転写シグナルへの影響	第34回 皮膚アレルギー学会	2004.07.17-18
大畑千佳、板見 智、富田興一、細川	左頬部の黒色腫瘍	第20回日本皮膚病理組織学会	2004.07.24
室井栄治、濱崎洋一郎、室田浩之、片山一朗、一ノ瀬弥久	反射性交感神経性ジストロフィー(RSD)の1例	日本皮膚科学会会長崎地方会 第293会例会	2004.07.25
片山一朗	アトピー性皮膚炎のオーダーメイド医療を目指し	皮膚科フォーラム	2004.07.30
片山一朗	ありふれた皮膚疾患のピットホール:新しい病因論と治療法	第61回三重皮膚科医会	2004.08.19
中川 幸延	高チロシン血症(Ⅱ)型の1例	第19回角化症研究会	2004.08.7
中川 幸延、長澤智彦、小豆澤宏明、中村敏明、板見 智、片山一朗、一井倫子、前田 哲生	CD-4-CD8-皮膚T細胞リンパ腫の1例	第55回日本皮膚科学会中部支部	2004.09.10-12
片山一朗	皮膚に現れるアレルギー:病態から考える新しい治療戦略	第5回 現代医学講座	2004.09.13
片山一朗	蕁麻疹の成因、経過、治療	大阪府医師会医学会学術講演会講演	2004.09.16
片山一朗	薬疹の多様性と診断へのアプローチ	第67回 兵庫県皮膚科医会講演	2004.09.18
乾 重樹、山本志織、板見 智、片山一朗	アトピー素因のある患者に生じた摩擦皮膚炎の2	第385回 日皮会大阪地方会	2004.09.25
片山一朗	治療ガイドラインからみたアトピー性皮膚炎の最新治療	アレルギー研修会2004	2004.09.30
中村敏明、片山一朗	Drug-induced hypersensitivity syndrome(DIHS)に続発した難知性類天疱瘡の1例	第26回水疱症研究会	2004.10.17
片山一朗	見逃しやすい皮膚疾患の診断と治療	第62回産業医学研究会	2004.10.22
乾 重樹	男性型脱毛の分子病態メカニズム(シンポジウム『毛の生物学の進歩』)	第68回 日皮会東部支部学術大会	2004.10.2-3
片山一朗	抗アレルギー剤の新しい作用から見たアトピー性皮膚炎の治療戦略	南大阪・和歌山皮膚科懇話会第19回学術講演会	2004.10.28
片山一朗	ありふれた皮膚疾患のピットホール:新しい病因論と治療法	第9回平成皮膚科の会	2004.10.30
乾 重樹、片山一朗	レポーターアッセイを用いた外用ステロイド剤のグルココルチコイド受容体モデュレーターとしての再評価の試み	第25回 近畿アトピー性皮膚炎談話会	2004.10.9
片山一朗	接触皮膚炎の最前線	第54回 日本アレルギー学会総	2004.11.05
片山一朗	アトピー性皮膚炎-皮膚炎の成り立ちと正しい治	皮膚の日講演会	2004.11.12
片山一朗	難治性顔面紅斑-基礎から臨床へ-	第7回 神奈川アレルギー性炎症懇話会	2004.11.19
片山一朗	乾癬とうまくつきあうために	大阪乾癬患者友の会(梯の会) 第12回学習懇談会	2004.11.27
乾 重樹、片山一朗	ニッケルはケラチノサイトのグルココルチコイドレセプターの転写促進および抑制活性を阻害する	第29回 日本接触皮膚炎学会	2004.11.27-28
乾 重樹	男性型脱毛の分子メカニズム	万有製薬講演会	2004.11.30
西田陽子、長澤智彦、中村敏明、乾 重樹、板見 智、片山一朗(大阪大)、筒井健紀(同産婦人科)	卵巣過剰刺激症候群に出現したmassive vulvar edemaの1例	第97回近畿皮膚科集談会	2004.11.6
西田陽子、長澤智彦、大畑千佳、板見智、片山一朗(大阪大学) 山本直子、前田哲生(同血液腫瘍内科)、青笹克之(同病理病態学)、南宏典(国立病院和歌山医療センター皮膚科)	急激な経過を辿ったCD-4(-)、CD8(-)、CD30(-)Cutaneous T-cell Lymphomaの1例	第56回日本皮膚科学会西部支部学術大会	2004.11.6
片山一朗	膠原病の皮膚症状:新しい病因論と治療への展望	第1回 南大阪皮膚疾患病診連携カンファレンス	2004.12.09
壽 順久、小豆澤宏明、西田 陽子、室田浩之、御旗 一、板見 智、片山一朗、吉川邦彦	コチニール色素による慢性蕁麻疹の1例	第386回日本皮膚科学会大阪地方会	2004.12.11
片山一朗	シェーグレン症候群について	ラジオ大阪「アレルギー診察室」6:45~7:00am	2004.12.12
Azukizawa H, Kosaka H, Sano S, Itami San Katayama I	Regulatory T cellの移入による中毒性表皮壊死症の回避	日本免疫学会	2004.12.1-3
片山一朗、中山樹一郎、古江増隆	皮膚科と難病指定疾患	ラジオNIKKEI「明日の治療指針」	2004.12.14
田中 まり、金田真理、種村 篤、片山一朗	神経線維腫症Ⅰ型の皮膚腫瘍に対するcombination therapy 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 神経皮膚症候群に関する研究班	平成16年度宗sかい	2004.12.17